

第12回独立行政法人契約監視委員会

令和元年6月
独立行政法人経済産業研究所

1. 日時

令和元年5月29日(水) 11:00～12:30

2. 場所

独立行政法人経済産業研究所会議室

3. 出席者

(1) 委員

白山委員長、向委員、八田監事、鈴木監事

(2) 独立行政法人経済産業研究所

中島理事長、高梨総務副ディレクター、齋木総務専門職

4. 議事

(1) 開催挨拶: 中島理事長

(2) 経済産業研究所の契約状況について

・平成30年度の契約内容及び契約方式の状況

5. 概要

(1) 開催挨拶

冒頭、中島理事長から開催挨拶が行われた。

(2) 経済産業研究所の契約状況について、事務局から説明後、質疑が行われた(主な質疑については別紙参照)。なお、個別の契約に対する指摘はなかった。

(別紙)

質問・意見	回答
■競争性のない随意契約理由及び契約価格の妥当性 <委託調査> <平成 29 年度「生活環境と幸福感に関するインターネット調査」の追加調査に係る請負契約>	
・ 契約額見積りの際の値引きについてはどうか。	・ 一定の値引きがあった。
<他機関との共同研究> ①平成 30 年度「貿易、環境、エネルギーの国際制度形成に係る調査研究」に係る共同研究契約 ②不眠症研究(不眠症を対象としたインターネット・コンピュータ認知行動療法の有効性を検討するランダム化比較試験)に係る共同研究契約 ③アロマ研究(におい刺激による認知機能改善効果の検討)に係る共同研究契約	
・ 結果として人件費等の実績減に伴って、150万円余りの確定減があったということだが、成果は出ているのか。 ・ 人件費については、出勤簿等資料に基づき、確定検査を行っているのか。 ・ 共同研究契約については、研究に関する覚書や研究プロジェクトの研究計画に基づき、他機関と契約することとしているが、経費の経済性などの観点はどのようになっているのか。 ・ 間接経費の割合はどのようになっているのか。	・ サポート役に充てる研究員の着任が先方の事情により開始当初には実現しなかったことから減額となったもので、成果への影響は出ていない。 ・ 人件費のみならず旅費、消耗品などの経費については、契約先から出勤簿を始めとする証憑類を取り寄せ、確定検査後、支出した実績に基づき、支払額を決定している。 ・ 経費のうち契約先での外注に要する委託経費については、見積額の比較による外注先の選定を確認し、間接経費については、各機関の内規に基づく割合を採用している。 ・ 共同研究順に①10%②30%③18%となっている。

<p>■一者応札・応募となったものの状況</p> <p>＜広報(リサーチダイジェスト)等＞</p> <p>＜平成 30 年度 RIETI 年次報告書デザイン・印刷業務請負契約＞</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の実績が参加条件となっていないか。 ・ 日本語以外の外国語の対応も仕様にあるが、それほど難易度の高い作業とは考えにくいだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加条件に過去の実績は入っていない。 ・ 現場サイドでも、高い技術を要求するものではないと認識しており、今後、印刷業界関係のネットでの検索など入札参加者増に繋がる工夫に引き続き務めたい。
<p>＜職員派遣契約＞</p> <p>＜派遣スタッフ募集（企画競争）＞</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の確保が深刻になっている状況から、企画競争などの手法での確保が難しくなっており、競争性の確保も大事だが、このことにより失われる所内関係者の労力や事務コストも考える必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々深刻化する人手不足から、派遣会社の選定方法を従来と違う形で検討する時期にきていると考える。